

Just right!  
 “ちょうどいい”が心地いい  
 みはらびと

# 移住者と在住者が寄

訪れる人を温かく迎え入れ、新しい挑戦を地域の

# り添いながらともに暮らす。

みんなで応援しながらサポート!



## Q. 現在の活動や仕事は?

(松岡) 移住後の3年間は地域おこし協力隊として活動。食に興味があったので、まず初めに鷺邸でお手伝いを始めました。島の特産品について知ったり、今まで知らなかった野菜や調理法を学んだり、いろんな人と出会うことができました。

令和3年3月に地域おこし協力隊の任期を終え、現在は小佐木島にある宿泊施設の社員として広報・企画に携わっています。また、個人事業主としても活動しており、「鷺島みかんじまプロジェクト」の共同代表として佐木島の島おこしに取り組んでいます。ECサイトの管理や更新、特産品であるみかんを使った商品開発、空き家や耕作放棄地の活用など。業務は多岐にわたりますが、島の人たちがいてくれるからこそ、新たなことに挑戦できます。

(白須) 鷺邸で提供しているみかん大福や島のかんきつ類を使ったジャムもプロジェクトから生まれました。松岡さんは何でも興味を持って、取り組んでくれるがんばり屋さん。娘のようにかわいい存在です!



島の特産品のかんきつ畑で作業を手伝うことも。



## Q. 佐木島での暮らしで印象に残っていることは?

(松岡) 耕作放棄地を活用して二匹の羊を飼っています。草を刈って整地したり、小屋を建てる際は、島の人たちがどんどん手伝ってくれました。新たなチャレンジを応援し、一緒に取り組んでくれる島の人たちのぬくもりを感じた出来事。羊はプロジェクトの象徴であり、人とのつながりの象徴でもある大切な存在です。小屋の掃除や水換えなど、羊の世話はプロジェクトのメンバーや島内のボランティアの方が交代でしていて、羊毛を使ったワークショップやイベントも開催しています。また、オンラインみかん畑ツアーなども開催しました。

(白須) 平成30年に豪雨災害が発生。島の水道が止まってしまっていて大変な中、移住したばかりの松岡さんが島民のためにがんばってくれたことを覚えています。良い子が来てくれたなとうれしかったな。

## Q. これから挑戦したいことは?

(松岡) 農業従事者や後継者を増やしていくために、島の魅力を外に向けてもっとPRしていきたいです。農業はもうからないというイメージがあるかもしれませんが、食材を加工することで付加価値をつけ、発信していくことでネガティブなイメージを変えていきたいです。

(白須) 鷺島みかんじまプロジェクトを通して、人とのつながりが増え、島を好きになってくれる人が増えるといいですね。

(松岡) クラウドファンディングで資金を集め、佐木島産の「島たまご」を育てる養鶏の環境整備を進めています。直売所と飲食店を兼ねた「鷺島みかんじまファーム」の設立もめざしています。

(白須) 鷺邸を始めてから、いろんな人と出会えるようになり、若い人との時間を楽しんでいます。島に住みたいと相談してくれる人が来てくれるのもうれしいですね。若者がどんどん増えて、島のために新たなプロジェクトにどんどん取り組んでほしいです。この島の担い手を育てていくことが私の仕事。これからも移住者を受け入れていきたいです。



6:30	起床・朝食・家事など
9:00	自宅で仕事開始 ECサイトの登録や活動報告の文章作成など
12:00	昼食
13:00	農家の人と打ち合わせ 商品や金額など
14:00	自宅に戻って仕事
16:00	羊の世話
17:00	自宅で仕事
18:30	夕食 メールチェック、連絡など Youtube鑑賞
0:00	就寝



佐木島は、30年以上の歴史を誇るトライアスロン大会が開催される島でもあります。

**[移住者]**  
 まつおか  
**松岡 さくらさん(27)**  
 [移住歴]5年目/兵庫県より移住  
 (株)NAVELマネージャー/  
 鷺島みかんじまプロジェクト共同代表

**[在住者]**  
 しらす かつこ  
**白須 克子さん**  
 佐木島出身  
 島時間「鷺邸」のオーナー

## Q. 三原市に移住したきっかけは?

(松岡) 学生時代はアフリカで医療・教育・農業分野に関わるボランティアやコンサルティング会社でのインターンを経験しました。卒論で地方暮らしの豊かさについて研究するため初めて佐木島を訪れ、大学卒業後に地域おこし協力隊として移住。佐木島を選んだ理由は、なんといっても人の良さ。地域の人に溶け込むのは簡単なことではありませんが、佐木島の人たちは気軽に話しかけてくれたり、何か新しいことに取り組むときは手伝ってくれるなど、よそ者を受け入れてくれる温かさ

を感じられたからです。  
 (白須) 松岡さんとの出会いは、平成29年に開催されたイベント。鷺邸の出店ブースを手伝ってくれました。その後、卒論研究のために佐木島を訪れたときも、宿泊先として鷺邸を選んでくれたんです。  
 (松岡) 白須さんは「1人ではさみしいでしょう」と、自分の家にも泊めてくれましたよ。  
 (白須) 初めて会ったときの松岡さんは遠慮がちだったけど、島で暮らすうちにどんどん社交的な面が見えてきて。移住後は鷺邸で料理を手伝ってくれたり、一緒に過ごす時間が増えました。

一軒家でのびのび子育てしたくて結婚を機に移住しました。人が温かくともいい所です。20代・女性・さとやまエリア

三原市の人柄の良さが移住の決め手になりました。日常の買い物も便利で、生活はノンストレス! 30代・男性・まちエリア

空港が近く、交通や買い物も便利で快適。家賃や住宅購入時の助成金も決め手に! 40代・男性・まちエリア

関東に野菜を卸しているので空港が近くとても便利。野菜の育て方を教えてくれる地域の方は家族のようです。30代・女性・さとやまエリア

広島市や関西へ行き来がしやすい佐木島に決めました。家の前に畑がある広い物件も決め手の一つ。60代・男性・しまエリア

**[在住者]**  
 むらかみ ともこ  
**村上 朋子さん(40)**  
 [移住歴]15年目  
 さとやまエリア  
 三原市地域支援員



**自然豊かな大和町でさとやま暮らしを満喫**  
 結婚を機に、夫の勤務先がある大和町に移住。育児をしながら、果樹園のお手伝いや介護施設でのデイサービス、カフェの接客など色んな職に携わる傍ら、料理教室やマルシェへの出店などもしていました。現在は三原市地域支援員として、空き家案内やイベントの事務局、特産品を使った商品開発など、大和町の活性化にかかわり、充実した日々を送っています。